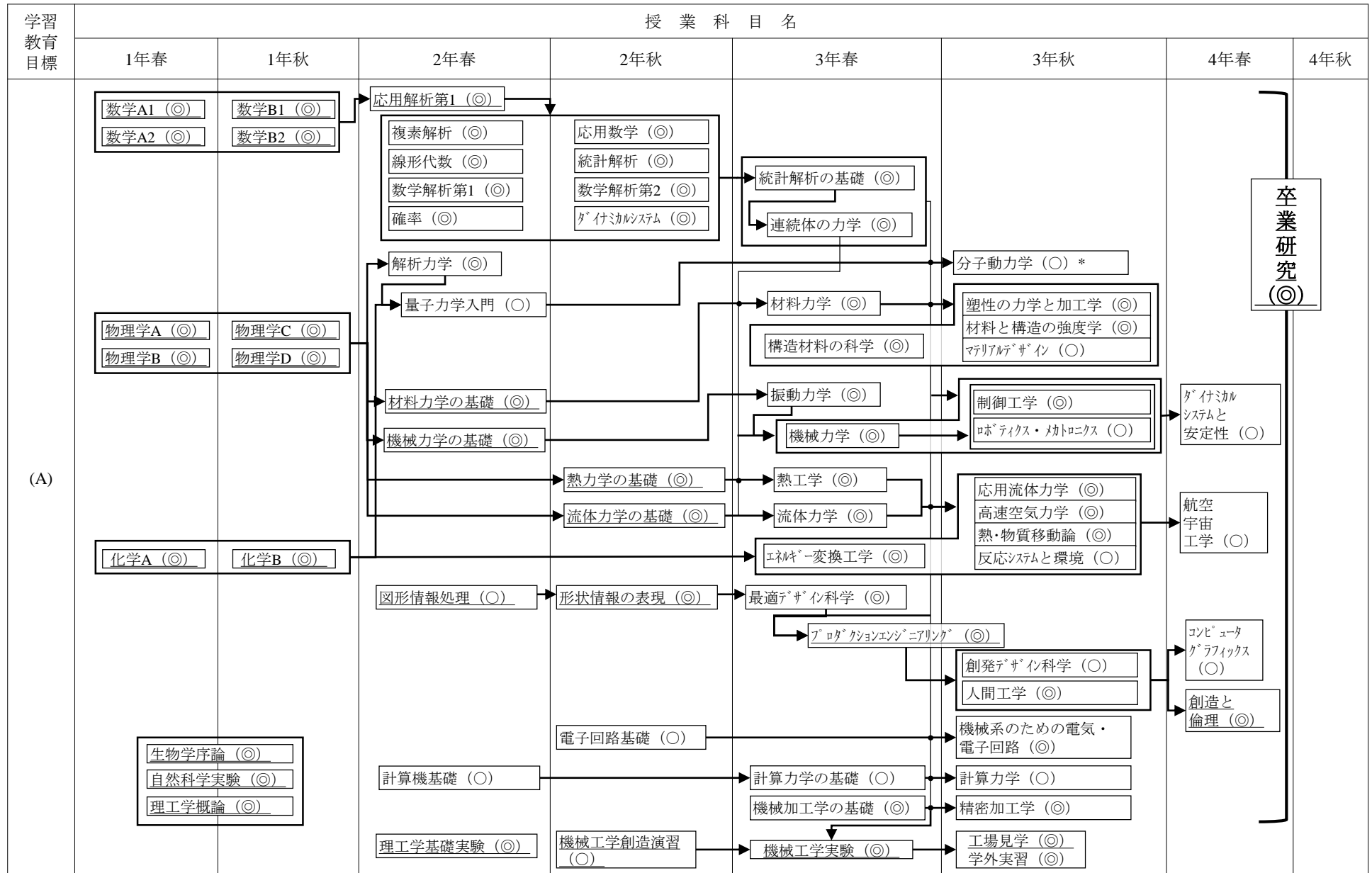
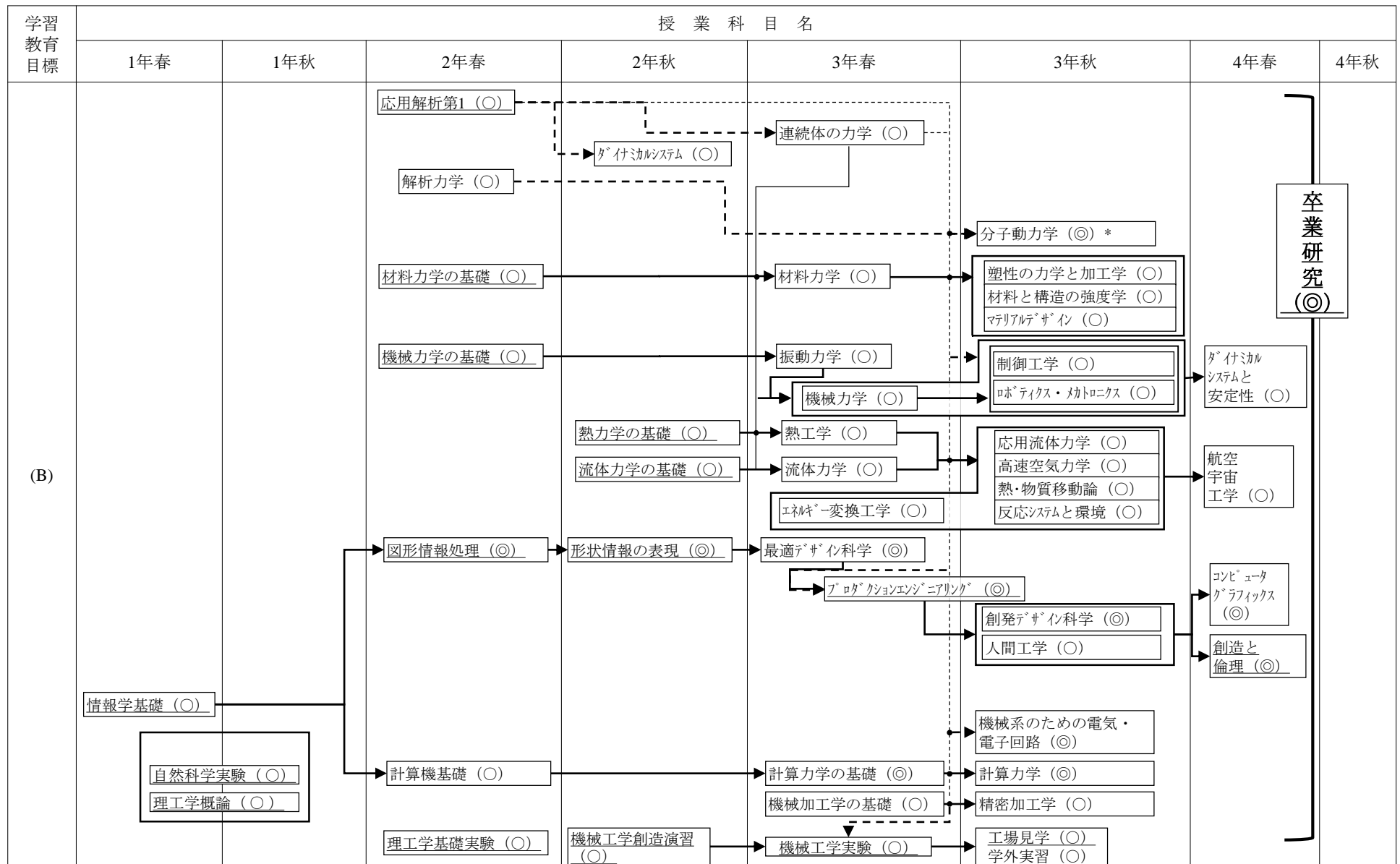


学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ





*2014年度休講

学習 教育 目標	授 業 科 目 名							
	1年春	1年秋	2年春	2年秋	3年春	3年秋	4年春	4年秋
(C)				<u>流体力学の基礎 (○)</u> <u>形状情報の表現 (○)</u>	流体力学 (○) 最適デザイン科学 (○) プログラクションエンジニアリング (◎)	<u>応用流体力学 (○)</u> <u>高速空気力学 (○)</u> 人間工学 (○) 分子動力学 (○) * 計算力学の基礎 (○) 計算力学 (○) 工場見学 (○) 学外実習 (○)	<u>創造と倫理 (◎)</u>	卒業研究 (◎)
	<u>自然科学実験 (◎)</u> <u>理工学概論 (○)</u>		<u>理工学基礎実験 (◎)</u>	<u>機械工学創造演習 (◎)</u>	機械工学実験 (◎)			
(D)	<u>英語1 (◎)</u>	<u>英語2 (◎)</u>	<u>英語3 (◎)</u>	<u>英語4 (◎)</u> <u>流体力学の基礎 (○)</u>	流体力学 (○) プログラクションエンジニアリング (◎)	<u>応用流体力学 (○)</u> <u>高速空気力学 (○)</u> 人間工学 (○) 工場見学 (○) 学外実習 (○)	<u>創造と倫理 (◎)</u>	卒業研究 (◎)
	<u>情報学基礎 (○)</u> <u>自然科学実験 (○)</u>		<u>理工学基礎実験 (○)</u>	<u>機械工学創造演習 (◎)</u>	機械工学実験 (○)			

*2014年度休講

※アンダーラインは必修科目，◎は学習・教育目標を達成するために特に重要な科目，○は比較的重要な科目である。